

2021-2022年度

国際ロータリー 第2630地区 岐阜Bグループ

Intercity Meeting

ガバナー公式訪問合同例会
インターシティーミーティング

開催日

2021年

11/30 火

スケジュール

ガバナー公式訪問合同例会 14:30 点鐘

IM (Intercity Meeting) 15:40 点鐘



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Rotary



岐阜Bグループガバナー公式訪問合同例会・IM プログラム

▶ ガバナー公式訪問合同例会

14:30	点 鐘	岐阜東RC 会長	安田 達雄
	ソング（君が代、奉仕の理想）		
	開会挨拶・特別出席者紹介	岐阜東RC 会長	安田 達雄
	出席報告・ニコBOX発表	岐阜東RC	細畑 直樹
14:45	各クラブ方針・活動報告	各クラブ会長	
15:00	ガバナー卓話	地区ガバナー	浦田 幸一
15:30	点 鐘	岐阜東RC 会長	安田 達雄



▶ インターシティミーティング

テーマ 「岐 阜 の 力」

15:40	点鐘・開会挨拶	岐阜Bグループガバナー補佐	豊田 雅孝
	ガバナー挨拶	R I 第2630地区 ガバナー	浦田 幸一
	IM実行委員長挨拶・講師紹介	IM実行委員長	桑原 一男
15:50	記念講演		
	演題「夢と冒険 モンベル七つのミッション」	講 師	辰野 勇
17:20	講師への御礼	IM実行委員長	桑原 一男
	カウンセラー講評	地区研修リーダー・パストガバナー	辻 正敏
	次期ホストクラブ発表	岐阜Bグループガバナー補佐	豊田 雅孝
	次期ホストクラブ会長挨拶	岐阜加納RC会長	豊田 真弘
	地区大会案内	地区大会実行委員長	近藤 輝矢
17:35	閉会挨拶	IM実行委員長	桑原 一男

▶ 参 加 者

📶 特別出席者

－ 三 重 県 －

R I 第 2630 地区ガバナー	浦田 幸一 様 (伊勢中央 R C)
地区研修リーダー・パストガバナー	辻 正敏 様 (津 R C)
地区代表幹事	玉木 義裕 様 (伊勢中央 R C)
地区幹事ガバナー事務局 事務局長	八木 雅文 様 (伊勢中央 R C)

－ 岐 阜 県 －

地区ガバナーエレクト	高橋 伸治 様 (岐阜 R C)
岐阜 A グループガバナー補佐	森 益男 様 (岐阜中 R C)
岐阜西濃グループガバナー補佐	後藤 博美 様 (岐阜サンリバー R C)
岐阜東濃グループガバナー補佐	山田 幹雄 様 (瑞浪 R C)
東海北陸道グループガバナー補佐	村下 徇刑 様 (美濃 R C)
地区職業奉仕委員長	原尾 勝 様 (岐阜北 R C)

📶 参加クラブ

岐阜南ロータリークラブ	会長 玉木 吉郎 様
	幹事 五藤 龍彦 様
岐阜東南ロータリークラブ	副会長 藤井 達郎 様
	幹事 武藤大次郎 様
岐阜加納ロータリークラブ	会長 豊田 真弘 様
	幹事 遠山 升貴 様
岐阜エトスロータリークラブ	会長 白井 伽織 様
	幹事 廣田 健二 様
岐阜城ロータリークラブ	会長 正村 一人 様
	幹事 江口 広康 様
岐阜東ロータリークラブ	会長 安田 達雄 様
	幹事 神谷 正史 様

ガバナー公式訪問合同例会

開 会 挨拶



岐阜東 R C 会長

安田 達雄

皆様、こんにちは。今日ホストクラブを務めさせていただきます、岐阜東 R C 会長の安田でございます。開会の挨拶を述べさせていただきます。

本日、ご視聴、ご参加の皆様、誠にありがとうございます。まずは、コロナ禍で9月から11月に変更になり、皆様にはご迷惑をかけ、申し訳ありませんでした。

本来ならば、この場に多くの方にお集まりいただいての会ですが、コロナの現状を考慮し、やむを得ず YouTube 配信とさせていただきました。

国際ロータリー第 2630 地区ガバナー 浦田様をはじめ、地区から特別出席者 9 名の皆様と第 2630 地区岐阜 B グループの会長、幹事にご出席を頂き、会員へは YouTube 配信のハイブリット方式で、皆様にご視聴頂くことになりました。ご理解の程、宜しくお願い致します。

今年度 R I テーマは、「奉仕しよう みんなの人

生を豊かにするために」、また地区方針は「つねに超私の奉仕を胸に」です。

後半の I M では「夢と冒険 モンベル七つのミッション」をテーマに株式会社モンベル代表取締役会長 兼 C E O 辰野様を講演者にお迎えし、YouTube にて会員の皆様リアルタイムで講演を見て頂くことになっております。

コロナ禍でもオンライン環境を整備して、リモートの機会を十分に活用したいと思います。コロナ禍が終息し、来年度は皆様とロータリーの原点である親睦がより多く図れることを期待し、また、この会が他クラブの皆様のご協力・参加なくしては成り立たないものです。

今回の経験とノウハウの共有を財産とし、ロータリーの活動にお役に立つことが出来ればと思います。どうぞ一日、よろしくお願い致します。



/// 各クラブ方針・活動報告 ///



岐阜南 R C 会長

玉木 吉郎

ポール・ハリスは「仕事上の付き合いがそのまま親友関係となる仲間を増やしていきたい」と述べています。岐阜南 R C では、「親友を更なる家族へ！」という思いから、『ロータリーを支え合う家族に！』というテーマとしました。

しかし、コロナ禍において活動もままならず、会員との交流が疎遠になる中でその関係改善に向けた委員会や I G M を重要として活性化させ、会員が集まる機会を多くしようと努力しております。“信頼と支え合う仲間・笑顔での融和・相談できる仲間” 心配事も嬉しいことも語り合い、日々の生活を分かち合える本当の家族のように、出会えた喜びが例会を楽しみなものにしていくつもりです。各委員会では、感染防止に留意しながらも従来の先輩達が守ってきたクラブ運営と地域との関係維持そしてインターアクトやローターアクトを応援し、ロータリーへの理解の中で将来のロータリアンが生まれることを期待しております。



岐阜東南 R C 会長代理

副会長 藤井 達郎

本年度のスローガンを「ロータリープライド」と掲げました。

「プライド」とは誇り。ロータリーの誇り、すなわち奉仕。

私たちはこの地域社会に生まれ地域社会に育てられて暮らしています。これまで事業が継続できたのも地域に守られているからです。このお世話になった地域社会に恩返しをするためにも奉仕は必要不可欠なことです。奉仕の理念は言わばロータリーの誇り（プライド）。わたしたちロータリーの原点である「奉仕」。この誇りを胸に一年間活動してまいります。

クラブ方針

<地域奉仕事業>

今年度は、新たに大きな事業を行うことを控え、例会数も考慮し、且つ対外的事業である清掃・献血事業を増やし地域貢献を目指す事業作りをします。

<継続事業の再考>

私たちの今まで行ってきた奉仕活動はロータリー精神に基づき行ってきた事業ばかりなのですべてに事業継続が好ましいことだと考えます。しかし、求められ受け入れる事業ばかりでなく、それがクラブの現状を考慮し継続していかなければならない事業なのかを見極めた事業展開を考え、クラブに見合った事業内容にしておくことを目指します。

<会員増強維持>

女性会員入会も含め、引き続き会員増強を行います。

候補者を一人がひとりを募り情報共有をしてリーフレットなど活用し勧誘に努める。

会員維持には親睦交流が役立てていると考えています。会員同士の懇親・親睦をできるようなクラブ運営を目指します。

＜会員相互の親睦＞

入会の動機がそれぞれ異なっている、共にロータリークラブに在籍し、志同じするものが相集っている団体です。会員相互の融和をより深めるような親睦事業の展開。

また、若い会員を育て次の時代に輝く日が来るような研修事業を行っていきます。

活動報告

本年度は例会数43回を予定しておりますが、8月からの蔓延防止、緊急事態宣言のため7回休会とし、9月末まで計画通り事業を進めることはできませんでした。

長年継続事業として行ってきました特別養護老人ホームリバーサイド川島園へ慰問し岐阜工業高校ブラスバンド部に演奏していただく事業。スポーツ少年団支援事業に伴う開会式参加、8月の笠松町川まつり翌日の早朝清掃活動、岐南フェスタ内での献血事業を計画しておりましたが、それぞれ先方より感染防止のため中止の連絡をいただき中止となりました。

しかし、笠松町のみなと公園の清掃については古田笠松町長にお伺いを立て、代替えの場所を検討し清掃場所を笠松競馬場南堤防へ変更し清掃を行いました。

対外事業は多々中止が決定となりましたが、9月からはリモートでの参加も含め、会場と併せて例会を再開しております。

7月には、毎年、日本児童育成園の子どもたちを回轉すしに招待する事業を継続しておりましたが、感染予防のため入所の子どもたちと先生たちの分を寿司折めにして施設へ届けさせていただきました。子どもたちの喜ぶ笑顔はロータリー事業の活力となります。

今年の新事業として、単発ですが1月に笠松町子ども児童館が新規開館いたしますので、こちらにシンボルツリーとして、どんぐりの木を植樹させていただく予定です。



岐阜加納 R C 会長

豊田 真弘

クラブ方針

①ウィズコロナにおけるロータリークラブ…デジタル社会への対応

ウィズコロナにおいてデジタル社会が進むなかで、高齢者会員へのやさしい対応を配慮しつつ、当クラブにおいても下記の内容のデジタル化を推進する。

- ・WEB例会の充実
- ・ホームページの拡充
- ・会員ネットワークシステムの推進

②職業奉仕・職業倫理を高める・・・例会卓話の充実。

- ・出席委員会による卓話の内容の事前確認の徹底
- ・卓話担当を委員会から担当会員

③ロータリー財団補助金を活用した奉仕プロジェクトの計画・実施

ロータリー財団を活用した新たな奉仕プロジェクトを計画する。

- ・日本児童育成園におけるボルトリング大会の実施

④加納の歴史・文化継承への継続的な取り組み

「中山道加納宿まちづくり交流センター」を拠点として、地域団体と協働して、加納の歴史・文化継承プロジェクトに対する継続的な取り組みを行う。

活動報告

①マーサ21での献血活動（11月3日）

②加納中学の生徒を対象とした天文教室（11月24日）

③日本児童育成園でのケーキづくり（12月9日及び5月）

④ジュニアゴルフトーナメント（3月）

⑤中山道加納宿まちづくり交流センター運営協議会への参加

*地区からの要請を受けて各務原西高校インターアクト事業を計画したが、各務原西高校の都合により実施できなかった。



岐阜エトスRC 会長

臼井 伽織

今期クラブの方針に定めたことは、

1. すべての会員が積極的にクラブ活動に参加しよう
2. より魅力あるクラブを皆で創り会員維持・増強に繋げよう
3. 例会へ積極的に参加しよう
4. インターアクトクラブと一緒に奉仕活動しよう
5. 自身の職業を通じて沢山の笑顔をみましよう

です。

私が本クラブに入会した頃は13名であった会員数が、現在私も含めて21名となりました。人が増えたことにより、近年様々な問題が起これば対応に苦労したことが記憶に残っています。これは、クラブ内においてのコミュニケーションが減少したこと、クラブのルールを軽視したことが要因に挙げられます。クラブが今後も10年20年と維持発展する為には、会員増はもとよりクラブの質をより高めることが必要と考えています。

期首に入会歴の浅い会員を集めクラブに対する意見を聞きました。ロータリアンである意味を見出せずにただ何となくここに居るという会員がほとんどでした。何故、見いだせないのか？それは、自ら見つけようとしていないからです。見つけるためには、積極的な参加が必要です。エトスでは、理事役員の世代交代を行い、若い世代が中心になり活動を行うこととしました。また、定期的に会歴の浅い会員同士で勉強会を開催し、ロータリーへの知識を深める努力をしています。そうすることで、今まで口を閉ざしていた会員からも意見が出るようになりました。コロナ禍で、満足できる運営ができておりませんが、定めた方針を形に残せるよう努めます。



岐阜城RC 会長

正村 一人

岐阜城RCは「職業奉仕をすべての中心に」をクラブ方針として、コロナ下でも職業的な繋がりを築くための機会すなわち親睦を含めたホームクラブ例会をできるだけ多く開くプログラムを作成しました。ただし9月の緊急事態宣言下では、オンライン例会を余儀なくされたこともありました。

例会では行事予定とは別に時間が許せば5分ほどの職業卓話をすべての会員に無作為にお願いしています。会員個々の職業卓話は発想の転換に役立つことも多く、会員の脳の活性化が図られていると感じています。また、例会をより有意義にするためのプロジェクターとスクリーンを常設し活用しています。

岐阜城RCは11月30日現在 1名退会、1名入会の19名の会員です。

現在の「ロータリークラブはボランティア団体」という認識からすれば小さなクラブですが職業奉仕を学ぶことに支障はありません。

11月14日には遠征例会を「徳山ダム、藤橋城プラネタリウム見学」という形で久しぶりのバス旅行を楽しみ親睦を深めました。

11月28日に本郷町ケヤキ並木清掃を岐阜東R Cと一緒に行いました。

2022年4月には社会奉仕、青少年育成の一環で長良川への稚鮎放流事業を行う予定です。

2022年5月には岡山にて岡山城R Cと松本城R Cとの「お城名ロータリークラブ交流会」を開く予定となっています。

これからも職業奉仕を中心に据え活力ある例会を運営していこうと考えています。



岐阜東R C 会長

安田 達雄

当クラブは50周年の時に「岐阜の力」をテーマに掲げました。

一昨年は、「岐阜の魅力」、去年は「岐阜の伝統文化」、そして今年は「岐阜の食」をテーマにして活動しております。

岐阜は海なし県において日本一の高低差を持っております。－5 cm～3,000m以上です。そこで高低差を利用して様々な食べ物や食文化が生まれています。

このような魅力を会員の皆様に発信し、理解を頂いて、ロータリー会員以外の方にも岐阜の食文化の魅力を通じて岐阜東R Cの魅力を感じて頂き、会員増強に繋いでいきたいと思っております。

また、ロータリーに興味のある方に夜間例会にオブザーバーで参加頂き、ロータリーの楽しさや魅力を感じて頂き、入会に繋げております。

奉仕活動では、長年、少年少女相撲大会に支援させて頂いております。岐阜から久しぶりに関取が生まれそうです。

他には、笠松刑務所から出所して社会復帰するための施設「更生保護法人 洗心之家」に支援をさせて頂き、クリスマス会にも出席をしております。また、年一回、卓話に来て頂き、活動報告と施設の在り方などを話してもらっております。また、「長良の風」という母子父子家庭の高校生に高校生活の3年間を毎月支援させて頂き、年1回、近況報告を受けております。

そして岐阜城R Cと合同で本郷町ケヤキ並木の落葉清掃を毎年行っています。

女性会員は当クラブに2名います。内1名には当クラブの女性では初めての副幹事をやってもらっています。女性ならではのサポートで非常にスムーズに進んでいます。

また、パスト会長の声を年間を通して定期的にお話し頂いて、クラブ運営に役立てております。

他にも夫人同伴例会を設け、来春には京都にご夫人同伴と一緒に観桜例会を計画をしております。岐阜の魅力をしっかりと皆様に感じて頂き、会員増強に努めてまいりたいと思っております。

以上、活動報告とさせて頂きます。

ガバナー卓話



R I 第 2630 地区ガバナー

浦田 幸一 様

ロータリー研修時の理念は

エレクトからガバナーになるまで、数多くの研修を受けてきました。

昨年の7月から本年6月までのセミナーはおおよそ50回、その間ロータリーの理念と言った話はたった1回、R I 会長の最初のメッセージ、「超我の奉仕」の考え、それ1回だけです。

あとは全て皆さん方に動いてもらうため、会員を増やしてもらうため、寄付をしてもらうための研修、お話です。このままではロータリーは単なる慈善活動ボランティア団体に成り切ってしまう。

100年先輩の皆さんが積み上げてきた、日本独自のと言っていいロータリーの伝統、文化は水の泡と帰してしまいます。

私は日本が培ってきたロータリーの思想、理念を大切に思い、その話を地区ロータリアンの皆さんに話して行きたいと考えています。

ロータリアンが常に持ち続け、社会のため、お役に立つための心のあり様をお話したいと思います。

ロータリーは資本主義・自由主義における倫理運動

私は初めに社会主義・共産主義を良いとは思いません。自由主義社会は素晴らしいと考えています。しかしまた、人は共に助け合い生きることを願っています。

渋沢栄一のお話から始めたいと思います。

渋沢栄一の話の中で「論語と算盤」と言う言葉をよく聞きます。講演、談話などを書籍化したものです。

渋沢は論語を学び、その中でも「仁」と「義」を大切にしました。「仁」は人への思いやり「義」は社会正義、社会のことを考える。「義」の反対は「利」自分のことだけ考えること。

義を重んじる「先義後利（せんぎこうり）」という言葉があります。

論語で、社会正義や全体のことを先にして自分の利は後に回すという意味です。

もう一つの解釈は義を先にすれば利は後で付いてくるということ。

これは仏教の教えと全く同じで、仏教の根幹の考え方は「利他」（人によかれ）であり「利他即自利」、利益を他人に与えることは即ち自分の利益につながるという意味、経済的な利益だけではなく善い行いは結果として必ず自分にも良いになると言うこと。

人に優しい資本主義「ステークホルダー資本主義」

渋沢栄一は「日本資本主義の父」と言われています。

本人は「資本主義」という言葉を使わず「合本（がっぽん）主義」と言っていました「合本」とは、何かと何かを合わせ足して新しい価値を創り出すこと。別々の要素を結び付け新たな可能性を見出す。

渋沢栄一の談話「論語と算盤」にも、渋沢は明治になり物質的な面で急激に豊かになった世中、精神的な豊かさを求め皆が満足する社会「機会平等」の世を求めました 論語＝道徳、「道徳と算盤」経済の両立を目指したのです。

渋沢栄一の言う「合本主義」は現代で考えると「ステークホルダー資本主義」つまり「利害関係者のための資本主義」のことです。これは今、企業経営で最も重要になっている考え方です。

企業は株主のためだけでなく、従業員や取引先、顧客、社会のために利益を最大化しなければならない。

企業は公器です

アメリカン資本主義

世界をリードして来た資本主義

新自由資本主義と言います

経済学者 フリードマン

他者を打ち負かしトップになり金と名誉を得ることにある。

アメリカンドリームという、だれでも豊かになれるチャンスがある一方で光と影の部分で本当に貧しい人たちが増えている。

市場の原理を「見えざる手」にたとえ自由放任を主張したアダム・スミス、公共事業など政府が市場に介入することで経済はうまくいくと主張したケインズ、そのケインズの理論を批判し、再び自由主義に光を当て徹底的に推し進めたのがアメリカの経済学者ミルトン・フリードマンです。

人間にとって何よりも大事なことは自由である、自由に行動することが最も素晴らしいこと、人を殺し、ものを奪ったりしてはいけないけれども、法に触れなければ、人に迷惑をかけなければ何をやっても自由という考え。

かつてアメリカでは禁酒法が施行され、酒をつくることも飲むことも禁止された時代がありました。

ところが当時のマフィア、アル・カポネが酒の密売を行い、闇の世界が大きく拡大してしまいました。禁止をすると裏で金儲けをしようという者が現れて、逆に闇世界がはびこる。

だから全部自由にしてしまうほうがいい、これがフリードマンの考え方「企業の社会的責任は利益を増やすことにある」と断言！法に触れずにしっかり儲けよ、気があるなら幾ばくか慈善寄付をしろ！

新自由資本主義が生み出した 超富裕層

超富裕層ビリオネア2,189人

(世界の資産の6割を持つ)

資産10億米ドル以上(約1,000億円)の人は、世界中に2,189人しかいない。どう言う人達か。GAFAの創業者、(グーグル・アップル・など)日本ならソフトバンク 孫・ユニクロ 柳井・楽天 三木谷。

しかも、2020年4月～7月コロナ禍の間に、その資産は27.5%増加した。貧富の差が広がっている。富裕層の貯蓄が増え、低所得者層の借金が増えるというサイクルはさらに加速される。企業が富裕層の株主に株式を発行して生み出された収益が、研究や設備に投じられるのではなく銀行に預金され、その預金を使って低所得者層の住宅ローンなどに充当する。

富裕層が一般人向けの銀行融資を間接的にやっているということになる。

資本は暴走するものだから、ブレーキが必要だ。古来、多くの人々が警鐘を鳴らしてきた。「資本

は暴走するもの、どこかでブレーキをかけなくてはいけない」アダム・スミスしかりマルクスしかりケインズしかり。

本来は人を豊かにするはずの〈資本主義〉が時に貧富の差を生み暴走してしまう。

「新自由主義経済」が主流になった1970年あたりから、先人たちの警告が忘れ去られ、資本の暴走が始まってしまったようで。

「市場が倫理だ」「市場で決める価値が倫理である」と正当な真理であるように言う。

行き過ぎた〈新自由主義〉は、苛烈な競争を生み、そこから脱落する人々を、大勢出している。

世界の最富裕層の財産総額は、最貧困層の財産より多い歪んだ社会になってきた。

自民党の総裁選が始まりますが、岸田さんが新自由主義に触れています。

新自由主義からの転換という表明をされています。

競争効率や利益重視の新自由主義の経済では、「株主資本主義」と言っていますが、結局経営者と株主が全部独占してしまいます。例えば米国のアメリカン航空は2007年に破綻の危機に陥りましたが、従業員の給料を340億円カットしました。これで会社は立ち直り、経営陣は200億円を超えるボーナスを受け取りました。これが新自由主義です。こんなことをやっていたのでは、ますます利益は一部に集中してしまいます。やはり分配というのは、一部の人間の給料だけ上げるのではなく、みんなの給料をそれぞれ上げる。今はこういった新しい資本主義を考えないといけない。——と。

岸田さんを応援している訳ではないです。河野さんの外務大臣時、韓国の大使を呼び一喝したことも好きですし、高石さんの専守防衛における敵基地攻撃も一つかと思えます。衛星ネットを使い超超誘導弾で攻撃するのですが防衛不可能です。

では歪んだ新自由主義の一端をお話ししましょう。

トヨタ純利益 2兆3,000億円

豊田社長 4億5,000万円

GMトップの報酬25億円、豊田章男トヨタ社長の6倍弱

GM純利益 6,500億円

フォードCEO報酬24億円、16年、トヨタ社長の5倍

フォード純利益 4,000億円

企業の人事や福利厚生等のコンサルティングを手がけるウイリス・タワーズワトソンの調査では、アメリカの売上高1兆円以上の企業、247社の役

員報酬中央値は13億1,000万円なのに対し、日本企業72社のそれは1億4,000万円と、約10倍の開きがあります。

そもそも、何をもって妥当な役員報酬とするのか、また、役員報酬の正当性はどの様に評価されるべきであろうか疑問である。

日本のCEOの報酬は従業員報酬の10倍から15倍の範囲に収まる企業が多いが、アメリカのそれは300倍。

日本 15 ——— アメリカ 300

アメリカを代表する新自由資本主義社会のますます広がる混迷の部分、格差貧困。

それらから派生する数々の暴力、暴動、テロ、紛争。

世界70億人の未来に危機を募らせ、世界の識者が集まり、世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）「ダボス・マニフェスト2020」として、

「企業は顧客、従業員、地域社会、そして株主などあらゆる利害関係者の役に立つ存在であるべきだ」

とする理念を強調し提言・次回は2022シンガポールで開催予定。

ステークホルダー資本主義について多く論じられる思われる。それに先立つこと2019年8月・米経済団体 ビジネス・ラウンドテーブル（日本は経団連）

「米経済界は株主だけでなく従業員や地域社会などすべての利害関係者に経済的利益をもたらす責任がある」

とする声明を発表。

企業は公器だ！（日本の経営者が長年、主張していた経営思想）（今頃気がついたのか）

ラウンドテーブルもダボス会議も危機感をもって提言。

フリードマンの新自由資本主義の大きな転換点

コロナ禍での株価の最高値の一方で失業、貧困、富める者と富めないもの拡大、暴動、紛争への入口。

新自由資本主義からステークホルダー資本主義

日本は大昔からステークホルダー資本主義

日本は欧米よりは格差は低い

日本企業は古くから「売り手・買い手・世間の三方よし」という近江商人の経営哲学が根付く

利益だけを追求するのではなくお客様に満足してもらおうと同時に社会へも貢献。古くから数多くの企業で実践されてきた考え方。ステークホルダー資本主義の概念に通じる。

古くからの教えを現代へ。

世間よし、買い手よし、売り手よし

自分より社会、個人、団体を先に重んじる

他者を第一と考える ——— 超我の奉仕

もうひとつ

先義後利（せんぎこうり）

人として当然あるべき道理をわきまえ、人が守るべき道徳を一番に考え他者へ行う。利益は追求するものではなく後から付いてくるもの、義は自分自身の行いを突き詰める意味合いをもつ。

丹精込め、真心込め、誠意をもって

——— 他者への行いが先に

利他精神

——— 超我の奉仕 通じる

東洋思想から派生した朱子学、陽明学・古学、国学、仏教、神道と融合の武士道 日本の教え

「三方よし」「先義後利」が 日本らしい

“日本らしい超我の奉仕”

「三方よし」「先義後利」

この二つの教えをとらえ 日本らしい超我の奉仕

自分を見つめ 社会を裏切らず 人々のお役に立つ

ロータリアンがロータリアンとして常に心に備えておくものが“日本らしい超我の奉仕”だと考えます。奉仕をしようが 奉仕をしまいが 常に心に備える。ステークホルダー資本主義の先進国 日本！

日本のロータリーの先人達が100年積み重ねてきたロータリー思想・哲学はこれからの社会に必要とされる。

インターシティミーティング

/// 開 会 挨拶 ///



岐阜 B グループガバナー補佐

豊田 雅孝

岐阜 B グループ 6 クラブのガバナー公式訪問合同例会・IM に多数の会員の皆様にご参加いただきありがとうございました。コロナ対策のためハイブリッド方式の開催とはなりますが、よろしくお願いします。

記念講演は大阪 RC の会員で株式会社モンベル代表取締役会長 兼 CEO の辰野勇さんを講師にお

招きし「夢と冒険 モンベルの七つのミッション」をテーマでの講演です、どうぞお楽しみください。

ホストクラブの岐阜東 RC の桑原実行委員長を始め、会員の皆さんには本日までの準備、運営にご尽力を頂き感謝申し上げます。本日はありがとうございました。

/// ガバナー挨拶 ///



R I 第 2630 地区ガバナー

浦田 幸一 様

本日の岐阜 B グループ IM の開催を心より御慶び申し上げます。

IM (インターシティミーティング) はガバナーの要請により、ガバナー補佐がグループ内で開催するもので、この会合の目的は会員相互の親睦と知識を広めると共に、ロータリー情報を伝え、奉仕の理想を勉強することにあります。

さて今年、ロータリーの新年度を迎えました 7 月以降 8、9 月は猛烈なコロナ禍でありました。そのような状況の中 IM 開催に腐心、努力されました皆様には私ガバナーとして感謝申し上げます。大変なことがあっても共に活動し頑張り成し遂げる。私達ロータリアンは社会が困難な時、人々に「頑張ろう!」と勇気付け、必要とされる活動をし

なければなりません。皆さんからはそのような心向きが伺えます。

岐阜は日本の真中であります。革新的に世を変えようとした織田信長が活躍した地であります。皆さんが職業奉仕、社会奉仕に熱心に活動をされた報告も拝聴しております。是非これから人々の心に寄り添う「超私の奉仕」を实践され活躍されますことを期待しております。

最後となりましたが、IM 開催にご尽力頂きました岐阜東ロータリークラブの皆様にご感謝申し上げますと共に、ご出席の皆様にとって有意義な日になることをお祈りして、私のご挨拶とさせていただきます。

/// I M実行委員長挨拶 ///



I M実行委員長

桑原 一男

皆様、こんにちは。岐阜東RCの桑原でございます。

本日はここ都ホテル 岐阜長良川におきまして、今年度の国際ロータリー第2630地区 岐阜Bグループ インターシティミーティングを開催致しましたところ、地区ガバナー 浦田幸一様をはじめ多くの地区役員の皆様方にご臨席を賜り、高い席からではございますが心より厚く御礼申し上げます。

また、岐阜Bグループロータリアンの皆様方には、日頃よりロータリーの奉仕活動、地元地域への社会貢献等々そのご尽力に対しまして、心より敬意を表するとともに深く感謝を申し上げる次第です。本当にありがとうございます。

I Mの主とする目的は、皆様ご存じのとおり、会員相互の親睦と知識を広め併せて会員に情報を伝え、奉仕の理想を勉強することにあります。皆

様方におかれましては、本日のI Mを通じて更なる知識と良識を広めていただき、これからもクラブ間の垣根を越えて一層の親睦を深めていただければ幸いに存じます。

皆様の胸に輝く徽章は、全世界全てのクラブとその会員を表す唯一の標章であります。そして皆様が胸に抱くロータリーマインドは、全てのロータリアンが共有する全世界に誇り得る唯一無二の尊い熱い心だと考えます。私自身、この徽章、ロータリーマインドに恥じぬよう、本日は皆様方とともに一生懸命勉強させていただきます。

本日は限られた時間ではございますが、岐阜Bグループ各クラブにとりまして実りある有意義な会合になりますよう、併せて各クラブの益々のご繁栄並びに皆様方のご活躍ご健勝を心よりご祈念申し上げ、歓迎の挨拶といたします。

/// 記念講演 ///

講師 辰野 勇 様

演題 「夢と冒険 モンベル七つのミッション」

プロフィール

大阪ロータリークラブ所属

1947年大阪府堺市に生まれる。少年時代、ハインリッヒ・ハラーのアイガー北壁登攀記「白い蜘蛛」に感銘を受け、以来山一筋の青春を過ごす。同時に将来登山に関連したビジネスを興す夢を抱く。

1969年には、アイガー北壁日本人第二登を果たすなど、名実ともに日本のトップクライマーとなり、1970年には日本初のクライミングスクールを開校する。そして、1975年の28歳の誕生日に登山用品メーカー「株式会社モンベル」を設立し、少年時代からの夢を実現する。

また、この頃からカヌーやカヤックにも熱中し、国内のみならずネパール、北米グランドキャニオン、ユーコン、中米コスタリカ等、世界中の川に足跡を残す。

1991年には、日本で初めての身障者カヌー大会「パラマウント・チャレンジカヌー」をスタートさせるなど社会活動にも力を注いできた。

2011年に発生した東日本大震災では、阪神淡路大震災以来の「アウトドア義援隊」を組織し、アウトドアでの経験を活かした災害支援活動を自ら被災地で陣頭指揮する。



▶ 講演を拝聴して

※記念講演の講演内容は、YouTube の視聴は当日の LIVE 配信のみとし、報告書への掲載も講演者の希望により掲載できませんので、当クラブの会員の感想を掲載させていただきます。

「夢と冒険 モンベル七つのミッション」、この講演を聞き辰野様はモンベルの創業者、会長であるだけでなく登山家、そして冒険家である。また現在も現役で登山する事に驚きました。

4,478m マッターホルン、50年ぶりに登頂を果たした事は簡単には出来る事ではありません。天候や高山病のリスクがかなりあるにも関わらず、登山家・冒険家としての、山に懸ける情熱が変わらずあるという事、とても素晴らしいと思いました。

また、モンベルはアウトドアスポーツ用品の製造、販売だけでなく、様々な分野で活動範囲を広げている事に、この講演を聞き知りました。

モンベルの創業者、会長としてだけでなく、人生を楽しんでいる、またロータリアンとしても興味深い講演でした。

時間があっという間に過ぎていく濃密で素晴らしい講演でした。深く感銘を受けました。

辰野氏が少年の頃に抱いた「夢」を実現に導いた思考・行動が、そのまま今も氏の人生観のベースになっていて、「目標に向かって歩き続けることが幸せ」の言葉通り、今も「夢」を追い続けていることがよく分かりました。

「経営」についてのお話の中では、何れの分野においても、秀でた人には「集中力・持続力・判断力」が備わっており、「経営」という観点では、プラス「決断力」という要素が最重要であり、辰野氏は、自身の「夢」を追い求める過程でそれらが備わっていったというお話が印象深く、私は「人生」にもなぞらえることができると思いました。「夢はより充実した、自分の思い描く人生を送っていくために必要なものである」というメッセージを受け取りました。

「夢」を持つ＝「好きなことをする」、そして「やっていることを好きになる」ことが原点である。そして「夢」を見続けることは、次また次と新たな目標を持ち続けることにつながり、人生の「夢」をかなえる方法のひとつであると理解しました。

そして好きなことを「夢」にされ、「夢」を追い続けることが「世のため人のためになる」という人生を辰野氏は歩んでこられており、モンベルという会社は正に氏の人生における「理念」が「会社の理念」そのものであると感じました。

講演終盤の「今この瞬間が一番若い!」、私の胸に刺さった言葉でした。私もやりたいこと、好きなことに今からでもドンドン挑戦していきたいと思った次第です。

講演を拝聴し、敬愛すべき素晴らしい経営者、素晴らしい会社であると思いました。同じロータリアンであることが感慨深く、ロータリークラブにご縁をいただいたと思います。

余談ですが、私もずっとモンベル会員を継続しておりますので、会員の特典を理解して活用することで少しでも社会貢献に繋がればと思います。

この度の記念講演では、株式会社モンベル 代表取締役会長 辰野様より、「夢と冒険 モンベル七つのミッション」の演題で、大変貴重なお話をいただきありがとうございました。

辰野様は若い頃から非常に危険な登山や渓流下りなど、普通では真似できない冒険を経験されてきたことに驚きました。マッターホルンのご登頂、大変感銘を受けました。また、そのご経験やご趣味を、ビジネスに繋がられておられることについて、大変勉強になりました。

最近、私もロータリーの先輩方にお誘いいただき、山登りを始めるようになりました。今では、先輩のアドバイスをいただきながら、山登りの前にはモンベルに行き、旅の楽しみを満喫させていただいております。株式会社モンベルの、益々のご活躍とご発展を願っております。この度のご講演ありがとうございました。

株式会社モンベルの代表取締役会長 兼 CEOの辰野勇様をお招きし、ご講話をいただきました。テーマは「夢と冒険 モンベル七つのミッション」です。辰野様は学生の時、最も難しいとされるアルプスのアイガー北壁の登頂を夢みて、当時日本からはとても行けないようなところでもありながら、21歳の時、日本人として二番目、最年少で登頂に成功されました。その後、商社を経て山に関わる仕事をしようということで、現在のモンベルという会社を創業されました。お話の中には、登山家であり経営者である辰野様の冒険がテーマにありました。冒険とは、命をかけて人のやらないことに挑戦することであり、限界を超えようとするものであると話されてみえました。生きていく力には、集中力、持続力、判断力が必要で、そして更にリーダーには決断力が必要である。人がこれを身に着けるには方法は無限にあるが、辰野様は山登りという冒険の中でそれらを身に着けてこられました。辰野様は目標を達成できたら満足ではなく、目標に向かって歩き続けている自分が幸せだとお話をされてみえ、夢を叶えるには夢を持つだけでなく持ち続けてチャンスを待つことが必要であり、現在7つのミッションと表され、様々な分野で事業を拡げられるモンベルという会社があるのも、この冒険家の考えによるものだと思います。個人的に以前からモンベルの商品を愛用していましたが、そのブランドイメージは経営者の辰野様によって創られていると改めて感じ、とても感銘を受けました。



講

評



地区研修リーダー・パストガバナー

辻 正敏 様

緊急事態宣言などが解除され、コロナウイルス感染者が激減したと言ってもコロナ禍であることには違いありません。そのような中、一度は延期を余儀なくされましたが、良い時期設定と、実際の出席を制限し、リアルとオンラインの出席というハイブリッド方式などでのインターシティ・ミーティング（以下、I M）でした。今回の設営に携わられた皆さんには大変だったのではとお察しいたします。お疲れ様でした。

I M中でのモンベル代表の辰野様の講演は、聞いている自分を少年の心に若返らせていただくとても爽やかで夢のあるお話でした。講演をYouTubeの配信で聴かれた方々もきっとそのように感じられており、挑戦する勇気を持つことの大切さを伝えていただいたのではないかと思います。私は現在の職業を父から受け継いで45年になります。その間に経験したことが辰野様の話を聞いて頭の中に思い起こされ、もう一度自分を振

り返る機会を与えていただいたようで感謝いたします。また辰野様は大阪RCに在籍される同じロータリアンと聞き誇りにも思いました。

またこのI Mの前に開催されたグループ内ロータリークラブの合同例会での浦田ガバナーのステークホルダーという話にも相通じる部分もあり、合同例会とI Mの一体感も感じることができました。

このような機会をお創りいただいた岐阜Bグループ担当の豊田ガバナー補佐、ホストをいただいた岐阜東RCの安田会長、桑原実行委員長に感謝を申し上げますと共に、実際に設営運営にあられましたクラブの皆様にも心より御礼を申し上げます。これが終了して盛大に打上げを行う時期ではありませんが、それぞれお互いに労っていただき、今後のロータリーをさらに充実した素敵なものにしていただければ幸いと存じます。ありがとうございました。

次期ホストクラブ会長挨拶



岐阜加納 R C 会長
豊田 真弘 様

只今、ご紹介を頂きました本年度 岐阜加納 R C 会長の豊田真弘でございます。

まずもって、コロナ禍での YouTubeLive によるガバナー公式訪問・合同例会、I M のリモート開催を企画されました豊田 B グループガバナー補佐、並びに岐阜東 R C の皆様には大変お疲れ様でございました。ウイズコロナ様式での設営には大変ご苦労があったとお察ししますとともに、敬意を表します。お陰様で新たな経験もさせて頂き、心

より感謝申し上げます。来年度はコロナが終息し、通常の合同例会、I M が実施できることを期待しており、次期ホストクラブとして微力ではございますが、誠心誠意努めさせていただきます。多数の参加をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

閉会挨拶

I M 実行委員長
桑原 一男

今年度のガバナー公式訪問合同例会並びにインターシティミーティングは、新型コロナウイルス対策のため、ハイブリッド方式での開催とさせていただきます。

至らぬ箇所は多々あったとは存じますが、先ずは全ての皆様方に心から御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

記念講演につきましては、大阪 R C の辰野 勇 様

に本日の記念講演会における講師をお願い致したところ、公私ともにご多用にもかかわらず快くお引き受け頂き、改めてロータリーの友情に感謝申し上げます。

また、次期ホストクラブは岐阜加納 R C でございます。加納 R C の皆様、よろしくお願い申し上げます。

本日は、本当にありがとうございました。



I M実行委員会

ガバナー補佐 豊田 雅孝

会 長 安田 達雄

幹 事 神谷 正史

実行委員長 桑原 一男

実行副委員長 杉山 敏樹

相 談 役

日比野隆二 / 浦田 益之 / 國枝 功 / 渡辺 敏昭
 堀部 明良 / 富田 幸雄 / 杉山 行生

総 務	受付登録	会 場	記 念 誌	接 待
◎安江 利之 ○川崎 芳浩 松井 義孝 山下 佳孝 山本 幸博 長尾 英樹	◎岩井 修司 ○長谷川隆志 田中 靖哲 久保田晃嘉 武藤 洋照 中尾 安民 六鹿 智尋 村木 利光	◎菅原 寛之 ○吉川 康彦 平井 繁利 土屋実記朗 林 武 依田 充朗 大野 健治	◎大野 利也 ○梅田 憲治 細畑 直樹 不破 達生 鷺見 春江 谷本 昌弘 神谷 成泰 山口 和人	◎小林 俊夫 ○林 則之 松田 良明 渡部 勝裕 藤橋 公男 高橋 隆雄 平野 恭子
会 計	◎廣川 重幸 ○宇佐見眞一			



I M収支報告書

【収入の部】

(単位：円)

項 目	決 算 額	備 考
地 区 補 助 金	50,000	
I M 登 録 料	1,184,000	登録料 4,000 円 × 296 名
岐阜南 R C		87 名
岐阜東 R C		52 名
岐阜東南 R C		39 名
岐阜加納 R C		79 名
岐阜エトス R C		21 名
岐阜城 R C		18 名
雑 収 入	19,000	ニコニコ B O X 投函
前年度繰越金	117,332	岐阜城 R C より
合 計	1,370,332	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	決 算 額	備 考
会 場 費 (会場費・音響・照明)	398,805	都ホテル 岐阜長良川
動画配信・制作費	520,000	カメラ 3 台 他
会 議 費	119,125	打合せ 飲料 等
講 師 謝 礼	80,000	謝礼 交通費 他
案内チラシ	22,000	
報 告 書	165,000	p d f 配布
次年度繰越金	65,402	
合 計	1,370,332	

お知らせ

今回のガバナー公式訪問合同例会・IMは下記のURLにてYouTube 動画にて配信されておりますので随時ご覧下さいますようお願い申し上げます。

但し、記念講演は本人の希望により視聴できません。

～ 合同例会 ～



<https://youtu.be/Cisq0005TOQ>

～ I M ～



<https://youtu.be/JqQbjGAdSus>



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021~22 年度
国際ロータリー第 2630 地区
岐阜 B グループ

ガバナー公式訪問 合同例会 ・ IM

ホスト：岐阜東 RC